

# ITU Telecom WorldとIIJ



2019年11月5日  
株式会社インターネットイニシアティブ  
MVNO事業部 ビジネス開発部  
佐々木 太志

Ongoing Innovation

© 2019 Internet Initiative Japan Inc.

## 自己紹介

- 2000年にIIJに入社
- その後、一貫してIIJのネットワークサービスの運用、企画、開発に従事
  - ダイアルアップ
  - ブロードバンド
  - モバイル
- 2007年に法人向けMVNO事業の立ち上げに参加（2008年よりIIJモバイルサービス開始）
- 2011年にコンシューマ向けMVNO事業の立ち上げに参加（2012年よりIIJmioモバイルサービス開始）
- 2013年、MVNOの業界団体であるMVNO委員会（テレコムサービス協会）の立ち上げに参加
  - 現在、MVNO委員会運営分科会（ワーキングレベルチーム）において、主査を務める
- フォロワー数13万人を持つtwitterアカウント@iijmioの中の人

© 2019 Internet Initiative Japan Inc.

## ■ 日本パビリオン（日本企業5社が出展）への参加



## ■ ジャパンランチパネルでのプレゼンテーション

- タイトルは“*The introduction of Japanese MVNOs*”



© 2019 Internet Initiative Japan Inc.

## IIJとITU Telecom Worldとのこれまでの関わり

- 2015@Budapest、2016@Bangkokではジャパンパビリオンに参加
- 当時は海外での事業展開を担当するグローバル事業本部が関わっており、主に海外向け営業活動の観点での出展
  - グローバルWAN、クラウド事業などの、ヨーロッパ、アジアでの展開などをアピール
    - 2016年の展示の様様



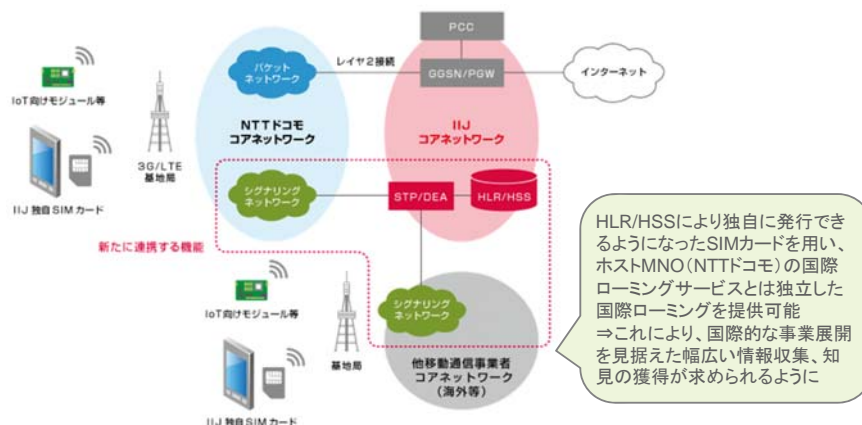
- その後、2017@Busanには出展せず

© 2019 Internet Initiative Japan Inc.

### ■ 2016年にIIJは「フルMVNO」の開始を発表

#### ■ フルMVNOとは

- MNO（移動通信事業者）の展開する携帯電話網を利用して、独自のブランドで携帯電話サービスを提供するMVNOのうち、ホストMNOの加入者管理装置(HLR/HSS)を利用せず、自らHLR/HSSを運用するタイプのMVNO
  - 「加入者管理装置」=SIMカードを管理するDBであり、かつ在圏管理や移動管理を司る心臓部に当たるノード



## ITU-T SG3への参加（アソシエートメンバー）

### ■ 2018年、IIJはITU-T Study Group 3（料金および経済・政策的課題）にアソシエートメンバーとして参加

- アソシエートメンバー = 1つのSGにのみ参加する企業・団体

#### ■ 参加の目的

- 特にMVNOに関連する国際的な通信関連の政策・ビジネスモデル等の標準化に関与する。
- MVNOに関する国際的な政策動向を把握し、日本におけるMVNOに関する政策提言等の活動に役立てる

#### ■ ぶっちゃけて言うと

- 誘われたから
- とにかく参加しないと何ができるかも分からない

#### ■ そして2019年

- SG3は新たなワークアイテム「STUDY\_IMT2020MVNOs」（IMT2020-related policy considering MVNOs）の作成で合意
  - 2020年に「5G」と「MVNO」の関係をもとめた技術文書を作成することが目標
  - このような活動へ貢献することは、国内においてMVNOが円滑に5Gの事業を拡大していくためにも重要

- **2018@Durbanでは、MVNO関連のワークショップ「Rise of MVNOs」にスピーカーとして招待される**
  - 当地でIIJのMVNO事業に関するプレゼンテーション、およびパネルディスカッションに参加
  - 残念ながら、この年はジャパンパビリオンは無し
  
- **そして2019@Budapest**
  - 2016年以前の、営業活動的な観点での出展ではなく、ITU-T SG3のアソシエイトメンバーとして、情報収集や情報交換のために参加
  - パビリオンよりもプレゼンテーション（ランチパネル）にやや軸足を置くイメージ
    - ただ、プレゼンテーションをご覧いただいた方数名にジャパンパビリオンまでお越しいただき、意見交換を行うことができた

## まとめ

- **日本の企業が、ITU（や他の国際的な標準化活動）に参加することは、日本の産業が国際的な競争力を付けたり、国内の産業発展をよりスムーズに進めていくことに繋がる**
  
- **ITU Telecom Worldは、ITUの活動を俯瞰的に捉えるためには良い展示会**
  
- **ITU Telecom Worldの参加企業を増やすことがゴールなのではなく、ITUによる標準化活動に目を向ける日本企業が増えること（その結果として、多くの日本企業がITU Telecom Worldに参加すること）を期待したい**